

たった一日で 新入生の不安が自信に変わる 初年次教育の 実践報告

初年次教育セミナー◆オンライン開催◆

退学抑止のポイントは
「新入生の大学適応」にあり。

新入生が大学に適応し、充実した学生生活を送るには、入学初期の過ごし方が鍵になるのではないのでしょうか。弊社は150校を超える大学・短期大学様と入学時ガイダンスや初年次教育・キャリア教育の充実を図って参りました。2020年度はオンラインでのプログラム提供にも対応いたしました。

本セミナーでは、「自己の探求」をはじめとした弊社プログラムの導入事例、導入いただいた学校様における取り組み内容や、その後の大学教育活動への接続等ご紹介させていただきます。



参加無料●各日程定員 40 名●要事前申込

6/15(火) 6/21(月) 6/23(水) 6/29(火) 7/5(月) 7/13(火)
全日程15:00~17:30 (Zoomオープン14:45)

株式会社ラーニングバリュー **セミナー問い合わせ窓口 担当: 藤田・樋口・田代**
seminar-cd@l-value.jp

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル4F TEL:03-5776-5960 URL:https://www.l-value.jp
※テレワーク中につき、お問い合わせは上記メールアドレスにご連絡いただけますようお願いいたします。

「自己の探求」プログラムの大学適応への効果

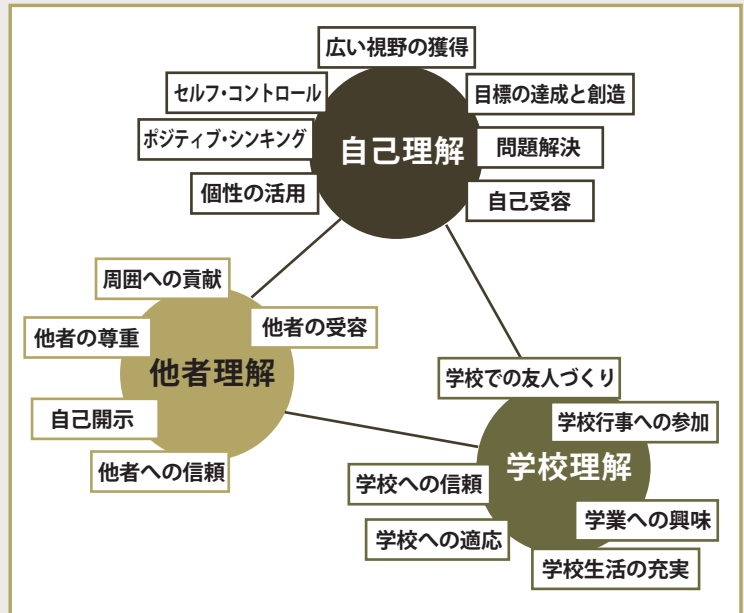
「自己の探求」プログラムによって大学生の自己理解、他者理解が促されること、そして学校（大学）に対してもポジティブな理解がもたらされることが明らかになっています。

「自己の探求」プログラムを体験した大学生が報告した①自己理解、②他者理解、③学校理解の変容について科学的根拠を示すための調査を実施。以下の結論が得られた。

●大学生の「自己理解」「他者理解」「学校理解」は「自己の探求」プログラムの体験を通してポジティブに変容する。

●「自己の探求」プログラムを通して大学生に認められた「自己理解の変容」は7つの要素、「他者理解の変容」は5つの要素から、「学校理解の変容」は6つの要素から理解することができる。(右図参照)

●各側面における各要素は同時に体験される可能性が高い。



※統計データについて <対象者>①自己理解・③学校理解の調査:279名②他者理解の調査:321名 <質問紙>2007~2008年の予備調査に基づいて作成された「自己理解の変容」、「他者理解の変容」、「学校理解の変容」に関する項目、計60項目 <統計解析>統計解析ソフトSPSS15.0Iによる因子分析と記述統計結果をまとめる
出典:「自己理解を深める体験が大学生の心理的側面に及ぼす影響」(順天堂大学 水野基樹先生准教授)

「自己の探求」プログラムへの感想【学生の声】●新しい友人を作る良いきっかけになりありがたかった ●コミュニケーションが苦手でも楽しく参加できると思う ●自分のどういう所を活かせるのか知ることができて良かった ●相手を気づかうのはもちろん、自分の意見も言っていきたい ●自分を知らってもらうにはまず自分で自分を理解し、同時に相手を知りたいと思うことが大切だと気付いた【見学した教員の声】●これまでのフレッシュマンキャンプでは仲間に入りきれない学生が出てきてもフォローしきれなかったが、今回のプログラムは異質な人同士でグループを組む仕組みになっており、終わった後コミュニケーションが取れていない学生がいないように見えた【体験から約2ヶ月後の学生の様子(例年との違い)】●演習で学生同士で話し合うことが増えている ●自分の意見を述べられるようになってきている ●クラス内での発言は活発。孤立する学生もいない【オンラインプログラムに参加した学生の声】●オンラインではあるが初めて大学の人と対面で話せたので楽しかった。またコミュニケーションの大切さが改めて身に染みた ●オンラインとはいえ、同じ学科の人と話す貴重な機会になった。様々な価値観、考え方を知ることができて良かった ●オンラインで話すのはとても苦手だったので、話せるようになって良かった

セミナーの主な内容 *内容は変更の可能性があります

◆弊社プログラム「自己の探求」の一部体験

◆実践報告 ※下記のほか、複数事例を紹介

A大学 コミュニケーションに苦手意識を持つ理系学生の不安解消、不本意入学者の意識変容を図る。2020年度はオンラインプログラムも活用。

B大学 入学前教育と初年次教育をつなぎ、学生のモチベーション向上を図る。

C大学 キーワードは「チームビルディング」。初年次の退学率減少につながる教育の仕掛けと展開。

◆質疑応答

お申込み

下記QRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。読み込めない場合は下記アドレス宛にメールでお申込みください。(seminar-cd@l-value.jp)



参加無料

各日程とも定員40名

株式会社ラーニングバリュー

セミナー問い合わせ窓口 担当:藤田・樋口・田代
seminar-cd@l-value.jp

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル4F TEL:03-5776-5960 URL:https://www.l-value.jp

※テレワーク中につき、お問い合わせは上記メールアドレスにご連絡いただけますようお願いいたします。